

頸城区西部地区振興会の運動会に招かれたのは上野議員。飛び入りで色水レースに参加したものの、チームは最下位だったとか。

橋爪議員は久しぶりに米山登山。体づくりの第一歩といいますが……。そば



のお地蔵さんと仲良しになったそうです。

上越市民吹奏楽団の一員として定期演奏会に出たのは平良木議員。吹いている楽器はホルンです。

行進曲やラテン音楽などの演奏は、とても楽しく好評でした。来春も演奏会があるそうです。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 383 2013年10月27日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 通学定期料金は現行維持を！

2015年の北陸新幹線開業を前にして、並行在来線を守るためにどのような運動を進めていったらいいのかが、これまで運動を進めてきた人たちが集まり、学習会を開きました。

「公共交通を良くする富山の会」世話人の渡辺眞一さん(写真)や竹島良子県議から富山県の取組や新潟県・えちごトキめき鉄道の動きと問題点などについて報告を受けた後、並行在来線を守る県連絡会の川原敏次事務局長が今後の運動方針案について提起しました。



## スポーツと文化の秋：楽しみ方は三人三様

放射線量の測定、改善に向け検討へ

上越地域消防事務組合の定例議会がこのほど、上越市役所で開かれました。

昨年度の決算審査で橋爪議員は、昨年度の途中から導入された消防署所での大気中の放射線量の測定と消防車両等の更新について質問しました。

このうち、放射線測定については、「1日に1回の測定ではいざという時に間に合わない。例えば、午前9時に測定して、(大きな事故が起きて)放射線が午前10時、11時に来たとしても翌日までわからない可

善性がある」と指摘し、改善を求めました。

これに対して浅野消防長は、「指摘のように午前9時に観測をして10時に大量の放射能が流れてきたらどうするか(という問題はあつる)。そこら辺は市の担当とも話をして回数を増やすことを考えていきたい」と答えた。今後の動きに注目です。



た。そして、参加者で活発な討論を行いました。

討論のなかでは、「昨年8月に実施した“沿線住民アンケート”結果で要求は鮮明になっている。現行運賃の維持、JR特急や急行乗り入れを実現すること等、要求はいくつもあるが、まずは利用者の中で最も多い通学の定期料金を現行にとどめることに集中して取り組むべきだ」「市民との懇談会はトキめき鉄道が活発に行っている。市民団体側でも取り組む必要があるのではないか」などの

声が次々と出ました。

こうしたなかで今年の年末から来春にかけて、通学定期料金の現行維持実現に向け、保護者、自治会などと連携して署名運動に取り組み、12月議会に請願を提出していく、「孫・ひ孫の時代まで安心して乗れる並行在来線めざして一第3次提言」を作成し、宣伝することなどが確認されました。

この学習会には日本共産党議員団の上野、橋爪両議員が参加しました。

# 日本共産党 議員団 議会報告会

入場無料 お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

10月29日(火)  
午後7:00~8:30  
(土橋)  
上越市市民プラザ  
第4会議室

11月9日(土)  
午後7:00~8:30  
板倉区  
コミュニティプラザ  
市民活動室(3階)